

# シンポジウム 社会の信頼に応える 建築の設計者・施工者の選定方式

過去30年間に世界の経済と政治そして技術はめざましい変化と発展を遂げた。この大きな変化の中で、日本の社会は蓄積された卓抜な建築技術とデザイン、そしてそれを支える人材を活かせなくなっているのではないだろうか。また、よい設計者や設計案が選定されたとしても、適切な支援体制を用意し、発注者・設計者・施工者の協力体制を築くことができなければ質の高い建築物は実現されない。本シンポジウムでは、多様な設計者選定の方式や設計と建設工事の関係など、望ましい建築界と社会の関係について議論を行うことを目的としている。

**日時** 2019年 4月 22日 (月) 15:00～18:00

**場所** 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

**定員** : 150名 (定員に達し次第締切)

**参加費** : 日本建築学会会員 : 1,000円 一般 : 3,000円 学生 : 1,000円

**主催** : 日本建築学会

社会の信頼に応える建築の設計者・施工者の選定方式を検討するタスクフォース

**司会** 田名網 雅人 (鹿島建設 建築設計本部)

**基調講演** 大野 秀敏 (東京大学名誉教授) 「社会が建築の専門家の力を活用するために」 15:00～15:20

## 設計者の選定手法の違いによる建築物の質への影響に関する事例紹介

**日野 雅司 (SALHAUS)** 15:20～15:40

「陸前高田市広田・小友・米崎統合中学校設計業務委託プロポーザル」  
設計者をプロポーザルで選定した設計案が市民との対話を重ねることで大きく変更された事例

**安田 幸一 (東京工業大学)** 「須賀川市民交流センター tette」 15:40～16:00

コンペ時に組織事務所と30代の若手を組む条件で実施したもの。若手の登竜門とするコンペの仕掛ける新しい試み。コンペの仕掛人の立場から。実施は、石本建築事務所+畝森泰行  
良いアイデアを提示した設計者のアイデアを実現するための支援体制が整っていた事例

**新井 久敏 (群馬県)** 「上州富岡駅舎設計提案競技」 16:00～16:20

コンペで選定された設計者が異なる公的発注者と協働して周辺整備のデザイン監修をした事例

**堀場 弘 (シーラカンズ K&H)** 「東松島市立宮野森小学校」 16:20～16:40

設計プロポーザルで選定された設計者と施工者の関係について

**出口 亮 (大成建設 設計本部)** 「TSURUMI こどもホスピス」 16:40～17:00

設計施工一貫方式における設計のあり方の事例

**パネルディスカッション** 17:00～17:50

小野田 泰明 (東北大学) / 柳澤 要 (千葉大学) / 大野 秀敏 (前掲) / 講演者

**まとめ** 17:50～18:00

古谷 誠章 (日本建築学会会長 / 早稲田大学)

申込 : 日本建築学会ウェブサイト「催し物・公募」からお申し込みください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=616371>

問合せ : 日本建築学会事務局 今井 TEL: 03-3456-2017 E-mail: imai@aij.or.jp